

令和4年度 製品開発企画研究会

環境配慮型 製品開発（講義、実習）

世界的な潮流として、持続可能な社会への変革が求められる中で、企業の製品開発においても、環境に配慮した取り組みが求められています。

環境配慮型の製品開発を実践するために必要な知識、具体的な取り組みと手法について、事例を交えながら、全3回の講義と実習により理解を深めていただきます。

日時・内容（全3回）

【第1回】 オンライン講義

令和4年6月23日（木）15:00～16:30

「製品定義の重要性」

環境配慮製品であっても通常の製品同様、あるいはそれ以上に開発初期段階における製品定義が重要である。本講義では製品定義において鍵となる考え方や設計ツールを紹介する。

【第2回】 オンライン講義

令和4年7月28日（木）15:00～16:30

「設計による品質の作り込み」

製品定義の完了後は設計という行為を通じて製品やサービスの“価値”を顧客に届けることになる。本講義ではこの段階の代表的ツール、QFD（品質機能展開）とQFDEを紹介する。

【第3回】 実習 <会場> 北部産業創造センター（綾部市青野町西馬場下33-1、JR綾部駅北側）

令和4年8月26日（金）13:15～16:30

「環境配慮設計ツール、TPAの紹介/グループワーク」

前半は、前述のQFDを応用した環境配慮設計ツールであるTPA（トータルパフォーマンス分析）を紹介する。後半はBS（ブレインストーミング）手法を用いて、これまでに紹介した設計ツールを適用する実習（グループワーク）を行う。

講師

秋田大学 大学院理工学研究科 共同サステナブル工学専攻

教授 三島 望 氏

対象者 製造業従事者で、全3回受講できる方（主対象は、製品開発に携わる方）

定員 20名（先着順。ただし申込多数の場合、京都府北部地域の立地企業を優先し、かつ1社当たり参加者数を調整させていただきます。）

参加費 無料

申込・問合せ先 申込書に所定の事項をご記入の上、中丹技術支援室までお申し込み下さい。
京都府中小企業技術センター 中丹技術支援室 担当：松下
TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341
E-mail chutan@kptc.jp

令和4年度製品開発企画研究会 『環境配慮型製品開発（講義、実習）』 参加申込書

令和4年 月 日

企業名	所在地	〒		
受講者氏名	所属・役職	電話番号	E-mail アドレス	
【連絡事項】 6/23・7/28 オンライン講義を北部産業創造センターで受講したい場合など、連絡事項があれば記載してください				

※申込書にご記入頂きました個人情報、本研究会参加者名簿として活用させていただきます。また、京都府中小企業技術センターより、各種研究会、セミナー等に関する情報をお知らせすることがあります。

- ・ 6月23日及び7月28日のオンライン講義では、インターネットに接続可能なPC等を各自で事前にご用意いただき、各事業所内でご受講ください。北部産業創造センターでの受講を希望される場合は、事前にご連絡ください。
- ・ 録画、録音、また配信データの記録やアーカイブ、保存は一切禁止します。
- ・ 8月26日の実習では、当センター会場には消毒液を設置し、会場の窓や扉の開放等による換気、他の受講者との間隔をあける等の対策をいたします。ご来所の際は、マスクの着用と丁寧な手洗い、手指消毒をお願いします。また、発熱等の症状がある方はご来場をお控えください。
- ・ コロナウイルス感染症の流行状況等によっては、日程・内容等を変更する場合があります。